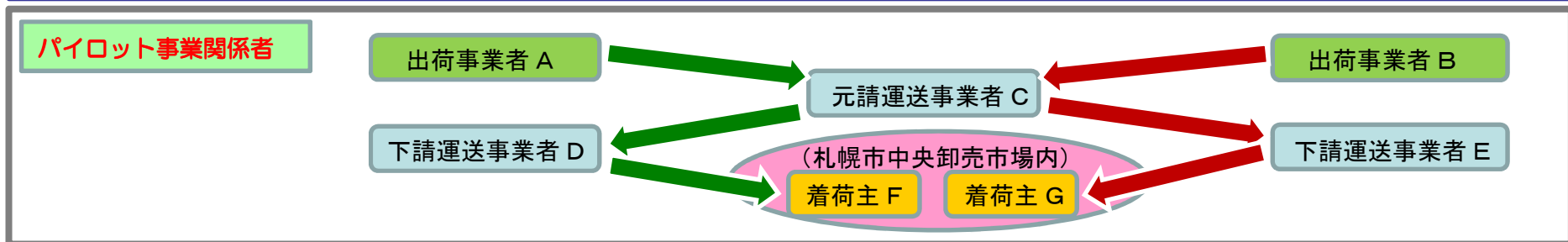


北海道地方協議会における平成29年度パイロット事業の取組（案）

北海道労働局・北海道運輸局

北海道におけるパイロット事業の対象集団の選定理由について（平成29年度）

1. 北海道における農産物（野菜）の出荷量は全国1位で、全体の約3割となっており、農産物は北海道を代表する産業である。
2. 農産物を取り扱う道内の物流においては、①発荷主からの荷積みの際に手待ち時間の発生や荷積み作業の時間短縮に関する課題②都市間の輸送において運行距離が長いことによる運行経路（高速道路の利用など）や運行時間（出発・到着時間など）に関する課題③着荷主への荷下ろしにおける手待ち時間の発生（配送先が札幌市中央卸売市場に集中するなどによるため）、などが認められ、これらの課題はパイロット事業を実施する際の着眼点にも合致するところである。
3. 農産物の輸送について、モデル事業として実施した結果に関して他の地域への波及効果も見込めることから、北海道におけるパイロット事業の集団として適していると考えられる。



改善に向けた取組方法のイメージ

- ①各現場における課題、問題点の浮き彫り → ②改善に向けた関係者間の調整 → ③お互いに協力できるメニューの創出
 ④実証実験に向けた手段の検討 → ④実証実験の実施 → ⑤実証実験から得られた結果を分析、検証 → ⑥とりまとめ

農産物輸送以外の対象集団の検討結果について

1. 平成29年度のパイロット事業の対象集団を選定する際には、スーパー、コンビニ等で扱う一般雑貨、食料品についても選定の対象としていたところである。
2. しかしながら、一般雑貨、食料品について、スーパー、コンビニ等への配送を行っている複数のトラック運送事業者に対し、本協議会及びパイロット事業の趣旨について説明をし、パイロット事業への参加について検討いただいたところ、検討依頼をした全ての事業者から、対象集団として協力することができない旨回答があったところである。